

取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ご使用前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
- お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～3
使用上のお願い	3
各部のなまえとはたらき	4～5
使いかた	6
温度設定モードの使いかた	7～8
カルキ抜きモードの使いかた	9～10
使い終わったら	11
お手入れのしかた	12
保管するときは	13
修理を依頼される前に	13
表示部の表示内容について	14
アフターサービスについて	14
仕様	14
保証書	裏表紙



安全上のご注意 必ずお守りください。

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示しています。

 **警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

 **注意** 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し、説明しています。

 してはいけないこと（禁止）を示します。

 必ずすること（強制）を示します。

警告



禁止

- お湯が入っているときは、ケトルの上部や注ぎ口、フタにさわったり、手や顔を近づけたりしない
- 湯わかし中は、注ぎ口を布巾などでふさがない
- 湯わかし中は、フタを開けたままにしない
お湯が吹きこぼれて、感電・やけどの原因になります。
- 空だきをしない
やけど・故障の原因になります。
- 小さいお子様や乳幼児の手の届く所で使用しない
やけど・感電・けがの原因になります。
- 高い場所や不安定な場所で使用しない
やけど・けが・故障の原因になります。
- 付属のベース以外は使用しない
- 付属のベースを他製品に使用したり、他製品のベースを本製品に使用しない
発火・ショートによる火災・故障の原因になります。
- 氷を入れて使用しない
結露によって、感電・ショートによる火災、故障の原因になります。
- ベースにケトルをのせたまま移動しない
- ケトルのフタを持ってケトルを移動しない
やけど、けが、破損の原因になります。移動させるときはケトルの取っ手を持って、ベースから外して移動させてください。
- お湯の入ったケトルをゆすったり、転倒させない
お湯がこぼれて、やけどの原因になります。
- 使用中に可燃性スプレー・シンナーなど可燃物を製品の近くで使用しない
爆発・火災・発火・やけどの原因になります。
- 製品のすきまや穴に針金やピンなどの異物を入れない
- 変形、破損、割れ等の異常があるときは使用しない
感電・ショート・やけど・故障の原因になります。
- 製品を電子レンジ・オーブンに入れて使用しない
- 製品を直火や電気ヒーター、電磁調理プレート (IH) の上にのせない
火災・故障の原因になります。



分解禁止

- お客様ご自身で分解したり、修理・改造は絶対にしない
異常動作による感電・火災・けがの原因になります。

修理はお買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。

警告



水ぬれ禁止

- ケトルの底部やベースを水につけたり、水をかけたりしない
- ベースとケトルの接続部に水がついた状態で使用しない

感電・ショートによる火災・故障の原因になります。必ず乾いてからご使用ください。

- 流し台など水がかかりやすい場所やぬれた場所で使用しない

感電・ショートによる火災・故障の原因になります。

- ベースとケトルが接続された状態で、水やお湯をかけたり、ケトルの中に水を入れない

感電・ショートによる火災・故障の原因になります。ベースやケトルに水がかかったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、使用を中止し、ベースとケトルをよく乾かしてください。

電源プラグや電源コードについて



必ず実施

- 電源は交流 100V のコンセントを使う
交流 200V の電源を使うと感電・火災・故障の原因になります。
- 電源プラグやベースとケトルの接続部にほこりが付着していないか使用前に確認し、電源プラグの刃の根元まで確実にコンセントに差し込む

感電・ショートによる火災の原因になります。

- 使用中に電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

ショートによる火災の原因になります。

修理はお買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショートによる火災の原因になります。

修理はお買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。

- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、加工したり足に引っかかるような状態にしない

電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。

- タコ足配線はしない

発熱による火災の原因になります。

- 電源コードを持って電源プラグを抜かない(必ず電源プラグを持つ)

電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因になります。

安全上のご注意



注意



禁止

- 水を加熱する以外の目的では使用しない
けが・やけど・火災・破損の原因になることがあります。
- 屋外で使用しない
感電・漏電・火災・故障の原因になることがあります。
- 業務用で使用しない
火災・故障の原因になることがあります。
- ケトル内側に電源コードを入れない
電源コードが熱で溶ける原因になることがあります。
- じゅうたん・ビニール袋・テーブルクロスなど熱に弱い敷物の上で使用しない
蒸気や熱で敷物を傷め、変色・変形の原因になることがあります。
- 食器洗浄機や食器乾燥機に入れて洗浄・乾燥をしない
変形・故障の原因になることがあります。
- 茶葉やコーヒー豆、調味料、食器など、水以外を入れて使用しない
火災・故障・こげつきの原因になることがあります。
- お湯が入っているときは、取っ手、フタ開ボタン、フタ閉ボタン以外にはさわらない
やけどの原因になることがあります。
- ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光があたる場所では使用しない
故障・破損の原因になることがあります。
- ケトル底部にさわらない
けがの原因になることがあります。
- ケトルの中に冷水を入れない
破損の原因になることがあります。
- ケトルが熱くなっているときは、ぬれた布巾で拭いたり、ぬれたところに置かない



必ず実施

- お湯を注ぐときは、必ずケトルのフタ開ボタンを押し、ケトルのフタを開ける
フタによりお湯の流れがさえぎられ、やけどや家具や建物を傷める原因となることがあります。
- 耐熱性のある平らで安定した場所で使用する
次の場所では使用しないでください。
落下・故障・火災の原因になることがあります。
 - ・テーブルや調理台の端
 - ・不安定な場所や可燃物の近く
 - ・畳、じゅうたん、テーブルクロス、プラスチック製の置台の上
 - ・食器収納棚の下
 - ・電気製品などの上
- 壁や家具、カーテンの近くで使用しない
蒸気や熱で壁、家具、カーテンを傷め、変色・変形の原因になることがあります。
- 1.0L(max)の線以上の水量で加熱しない
沸騰したときにお湯がケトルの注ぎ口からあふれ、やけどの原因になることがあります。
- 0.5L(min)の線以下の水量で加熱しない
空だきになり、やけど、故障、変形・変色の原因になることがあります。

使用上のお願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・研磨剤入りたわし・金属たわし・化学ぞうきんなどは使用しない
ガラス表面を傷つけ、故障や破損の原因になることがあります。
- 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所で使用しない。放置しない
正常な動作をおこなわず、故障の原因になることがあります。
- 一度わかしたお湯は一日で使い切る
水道水には殺菌作用のある塩素が含まれていますが、お湯をわかすことで、塩素が減少し、保存に向かなくなります。
- ケトル内側は使用前に2~3回水ですすぐ

各部のなまえとはたらき

ほこりよけ

外からのほこりの侵入を防ぎます。茶こしアミではありません。

注ぎ口

この部分は熱くなります。さわらないでください。

この部分は水が沸騰しても熱くなりにくい二重構造です。

フタ閉ボタン

フタを閉めるときは、フタ閉ボタンを押して閉めてください。

フタ

フタ開ボタン

お湯を注ぐときは、必ずフタを開けてください。

取っ手

電源コード

電源プラグ

ベース

ケトル

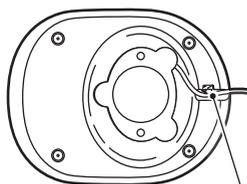
容量目盛

1.0L
(max)

0.8L

0.5L
(min)

電源コードのセット方法



(ベース裏面)

ベース裏の切り込みに電源コードを確実にセットしてください。

切り込み

各部のなまえとはたらき

操作部

温度設定キー

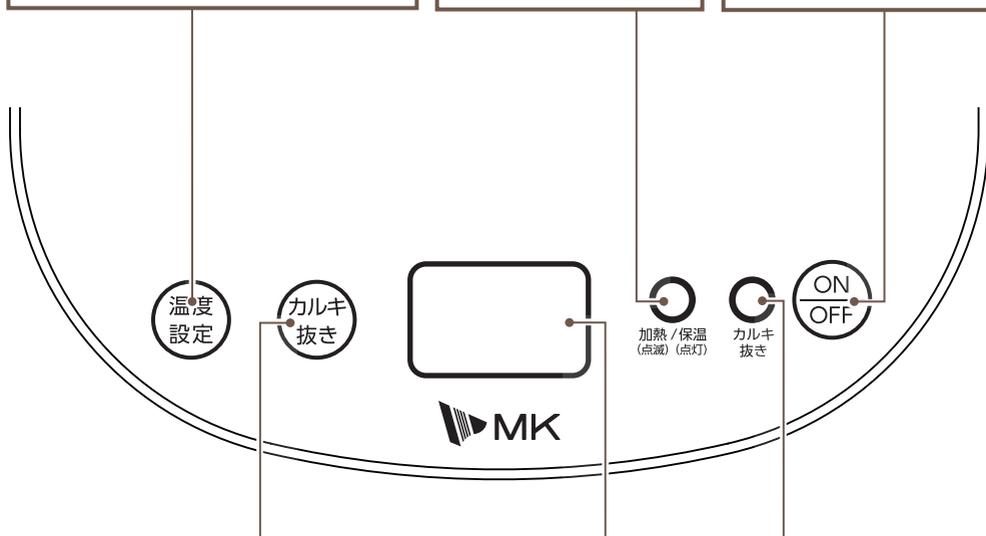
設定した温度に加熱します。
100℃ / 95℃ / 90℃ / 85℃ / 80℃ / 70℃
/ 60℃ / 50℃ / 40℃
の 9 段階に温度設定が可能です。40℃
～ 90℃は設定温度到達後、自動で 3 時
間保温します。
加熱中に押すと、設定温度を変更する
ことができます。

加熱 / 保温ランプ

加熱中、カルキ抜き中は
点滅します。保温中は点
灯します。

ON/OFF キー

電源を ON/OFF します。
加熱・保温・カルキ抜き
中に押すことで加熱・保
温・カルキ抜きを中止
することができます。



カルキ抜きキー

水のカルキを抜きます。
沸騰後 10 分間継続して加
熱します。
カルキ抜きモードは温度設
定、保温はできません。

表示部

電源を ON にすると現在のケトル内
部の温度を表示します。
加熱中は、設定した温度と現在のケト
ル内部の温度を交互に表示します。
保温中にケトルをベースから外してい
るときは E1 を、空だき防止機能がは
たらいているときは E2 を表示します。
E1 と E2 が表示されても故障ではあ
りません。詳しくは P.14 をご覧くだ
さい。

カルキ抜きランプ

カルキ抜きモードのとき
点灯します。

使いかた

はじめて使用するとき、ケトルの内側を2～3回すすいでから使用してください。

準備

1 ケトルに水を入れる

- フタ開ボタンを押し、フタを開けます。
- ケトルに必要な量の水 (0.5L～1.0L) を入れ、フタを閉めます。



⚠ 警告



禁止

- ベースとケトルが接続された状態で、水やお湯をかけたり、ケトルの中に水を入れない
感電・ショートによる火災・故障の原因になります。

⚠ 注意



禁止

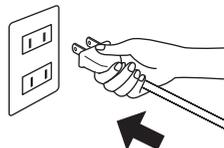
- 1.0L(max)の線以上の水量で加熱しない
沸騰したときにお湯がケトルの注ぎ口からあふれ、やけどの原因になることがあります。
- 0.5L(min)の線以下の水量で加熱しない
空だきになり、やけど、故障、変形・変色の原因になることがあります。
- 水以外の物を入れて使用しない
火災・故障・こげつきの原因になることがあります。

2 ケトルをベースにのせる

- ベースやケトルの底面に異物や水分が付着していないことを確認し、ケトルをベースにのせます。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



4 ON/OFF キーを押す

- ベースの表示部に現在のケトルの中の温度が点滅しながら表示されます。
- このときにケトルを持ち上げると、ベースの表示部に [000] が表示されます。[000] はケトルを再びベースにのせると消えます。



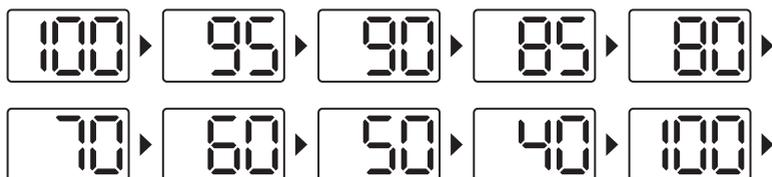
温度設定モードの使いかた

モードを選択する

温度設定モード (温度設定キーを選択した場合)

1 温度設定キーを押す

- ピットとブザーが鳴り、ベースの表示部に [100] と表示されます。
- 温度設定キーを押すたびに、ピットとブザーが鳴り、ベースの表示部の表示が下記の順に切り替わります。表示は設定温度を表します。

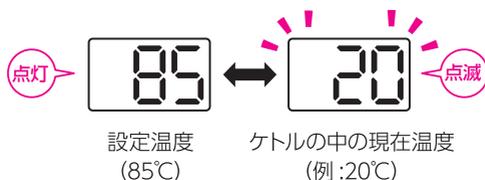


2 ベースの表示部を設定したい温度にし、3秒待つ

- ケトルが青く光り、ベースの加熱 / 保温ランプが点滅し、加熱が始まります。
- 加熱・保温中は、ベースの表示部に設定温度が点灯、ケトルの中の現在温度が点滅で交互に表示されます。表示は約4秒ごとに切り替わります。



85℃に設定したとき



設定温度 100℃のときの沸騰時間の目安
(室温 25℃、水温 20℃のとき)

水 1.0L……約 8 分
水 0.5L……約 4 分 30 秒

※お湯の沸く時間は、室温・水温・水量などによって異なります。

- ケトルの中の温度が設定温度になるとケトルの青い光が消え、ピーとブザーが鳴り、保温を開始します。保温中はベースの加熱 / 保温ランプが点灯に変わります。
- 保温は 3 時間です。3 時間経過すると、ピーとブザーが鳴り、電源がOFFになります。
- 設定温度が 100℃と 95℃のときは安全のため、保温はせず、設定温度に達するとピーとブザーが鳴り、約 15 秒後電源がOFFになります。



警告



禁止

●湯わかし中は、フタを開けたまま使用しない
やけどの原因になります。

【お知らせ】

- ケトルの中の温度が設定温度よりも高いときは、加熱は開始されません。ケトルの中の温度が設定温度以下まで下がると、加熱が開始されます。
- 表示部に表示されるケトルの中の現在温度が設定温度に達する前に加熱を終了し、保温を開始することがありますが、これはケトルで感知した温度に対して表示が遅れることが原因であり、故障ではありません。
- 標高の高い場所などお客様のお使いの環境によっては、ケトルの中の温度が設定温度に達せずに加熱を終了することがあります。
- 水の量が少ないときなど、ケトルの中の温度が設定温度より高くなることはありますが、故障ではありません。
- 加熱中、保温中にカチッと音がしますが、これは温度を調節している音です。故障ではありません。

3 お湯を注ぐ

- モードを選択した状態でケトルを持ち上げると、ベースの表示部に [E1] が表示されます。[E1] はケトルをベースにのせると消えます。故障ではありません。
- フタ開ボタンを押し、ケトルのフタを開けます。ケトルのフタを開けないと、フタによりお湯の流れがさえぎられ、やけどや家具、建物などを傷める原因となることがあります。
- お湯を注ぎます。お湯を注いだら、ケトルのフタ閉ボタンを押し、フタを閉め、ケトルをベースにのせます。

カルキ抜きモードの使いかた

モードを選択する

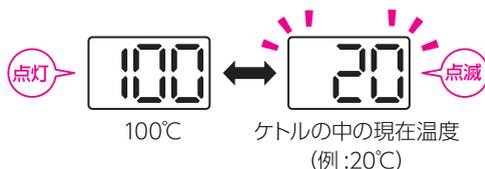
カルキ抜きモード（カルキ抜きキーを選択した場合）

1 カルキ抜きキーを押す

- ピッとブザーが鳴り、ベースの表示部に [100] と表示されます。
- 3秒待つと加熱が開始されます。
- 本体が青く光り、ベースのカルキ抜きランプが点灯し、加熱 / 保温ランプが点滅します。



- カルキ抜き中は、ベースの表示部に [100] が点灯、ケトルの中の温度が点滅で交互に表示されます。表示は約4秒ごとに切り替わります。



- ケトルの中の水が沸騰すると、ピッピッとブザーが鳴り、沸騰した状態を10分間続け、カルキ抜きをおこないます。
※10分後、ピーとブザーが鳴り、電源がOFFになります。
カルキ抜きモードでは保温はできません。

【お願い】

- カルキ抜きをするときは必ずケトルのフタを閉めてカルキ抜きをおこなってください。ケトルの中の温度が下がり、カルキ抜きがうまくいかない原因になります。

【お知らせ】

- 標高の高い場所や室温が低い場所などお客様のお使いの環境によっては、十分にカルキ抜きされないことがあります。

★カルキ抜きモードでは保温ができません。カルキ抜き終了後、再度電源をONにし、温度設定モードで温度を設定すると、ケトルの中のお湯が自然冷却されていく中で、設定温度になると自動で保温が始まります。

2 お湯を注ぐ

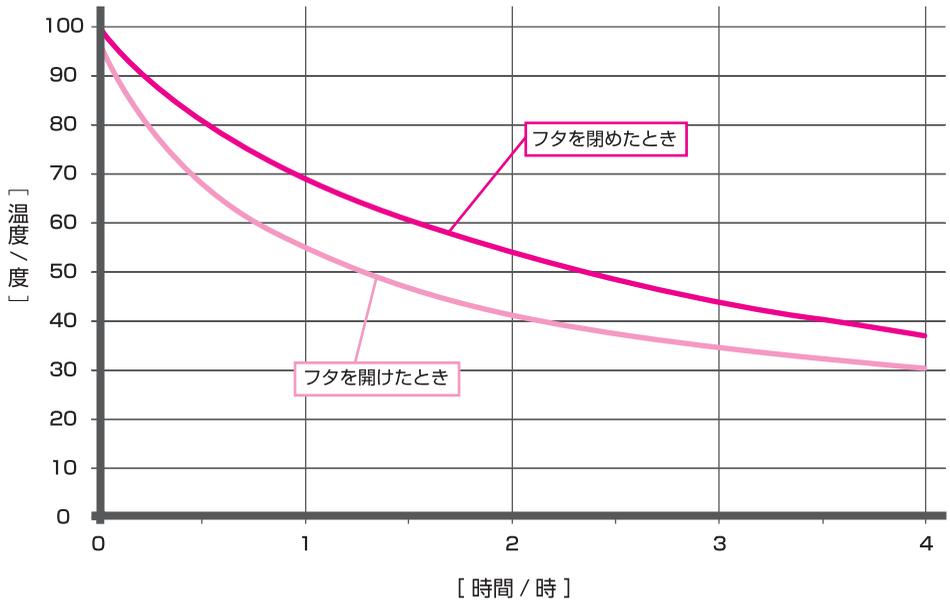
お湯の注ぎ方は P.8 をご覧ください。

☆お湯の温度の下がりかた

室温が 20℃ のときのお湯の温度の下がりかたを示しています。

横軸が沸騰終了してからの経過時間、縦軸がその時のお湯の温度を示しています。

例えば、フタを閉めた状態でお湯の温度が 40℃ まで下がるには、沸騰後、約 3 時間 30 分必要ということを示しています。(お客様のお使いの環境により多少時間は前後します。)



お湯が冷えるまでの時間の目安としてお使いください。

使い終わったら

1 ON/OFF キーを押し、電源を OFF にする

- ケトルの中に残ったお湯は捨てるか、別の保存容器に保存してください。お湯をケトルの中に長時間放置すると、水垢などが付着し、ケトル内側が汚れる原因になります。

【お願い】

- お湯を捨てるときは、お湯が冷めてからおこなってください。
- 一度わかしたお湯は、冷蔵保存する場合でも1日で使い切ってください。冷凍保存はしないでください。

2 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れのしかた



警告

- ケトルやベースを丸洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。



注意

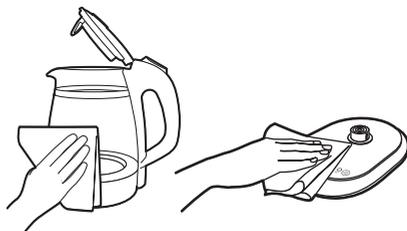
- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ケトルやベースが冷めてからお手入れをおこなってください。

【お願い】

- ベンジン・シンナー・クレンザー・研磨剤入りたわし・金属たわし・化学ぞうきんなどは表面を傷つけますので使用しないでください。
- 食器洗浄機や食器乾燥機に入れて洗浄・乾燥をしないでください。変形・故障の原因になることがあります。

ベース・ケトル外側

- 水かお湯に柔らかい布巾をひたし、かたく絞ってから拭き、よく乾かしてください。
- 落ちにくい汚れは薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかい布巾をよく絞って拭き取り、さらに乾いた柔らかい布巾で洗剤が残らないように拭き取ってください。



ケトル内側・フタ内側

- 水かお湯に柔らかい布巾をひたし、かたく絞ってから拭き、よく乾かしてください。

※ケトル内側に白い汚れなどが付着する場合があります。

これは水道水に含まれるミネラル成分が付着したものです。ミネラル成分を落とすときは、布巾にクエン酸を溶かした水をしみこませて拭き、そのあと、水かお湯にひたした布巾をかたく絞ってから拭き、よく乾かしてください。



<汚れが落ちにくい場合>

1. ケトルに水を 1.0L(max) まで入れ、その中にクエン酸 (約 15g) を入れてかき混ぜます。
 2. フタを閉め、温度を 100℃に設定し加熱します。
 3. 加熱終了後、フタを閉めたまま約 1 時間放置し、お湯を捨て内部を水で十分にすすぎます。
- ※クエン酸のにおい残りが気になる場合は、水のみを 1.0L(max) まで入れて温度を 100℃に設定し再度沸騰させ、すすぎ洗いをしてください。

保管するときは

- お手入れのあとよく乾燥させてから保管してください。
- お客様の手の届くところや直接日光の当たる場所、温度が高くなる場所（火気や熱源の近くなど）に放置しないでください。

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは次のことをお確かめください。

こんなとき	お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
ON/OFF キーを押してもケトルが作動しない	■ 電源プラグが抜けていませんか?	■ 電源プラグを差し込んでください。	6
加熱されない	■ 空だきしていませんか? (ベースの表示部に [E2] と表示されていませんか?)	■ 空だき防止機能が働いていません。ケトルをベースから外し、充分冷めてから水を入れ、電源を入れなおしてください。故障ではありません。 ■ 各モードを選択しても5分以上加熱されない場合は故障です。電源コードを抜き、お買い上げの販売店、または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。	5 5
保温されない	■ 温度設定モードで、95℃、100℃に設定していませんか? ■ 3時間以上、保温を続けていませんか? ■ カルキ抜きモードを使用しましたか?	■ 95℃・100℃の設定では保温できません。保温するときは40℃～90℃に設定してください。 ■ 保温時間が3時間を超えると、自動で保温が終了します。 ■ カルキ抜きモードでは保温できません。	8 8 9
水が漏れる・吹き出す	■ 1.0L(max) より多く水が入っていませんか? ■ 水以外の飲料をいれていませんか?	■ 水量を max 目盛り以下に減らしてください。 ■ 水以外はわかさないでください。	6 6
加熱中・保温中にカチッと音がする。		■ 温度を調節している音です。故障ではありません。	8

表示部の表示内容について

表示部は温度表示以外に下記の表示が出ることがあります。

E1 故障ではありません	■加熱中・保温中にケトルを持ち上げると、ベースの表示部に [E1] が表示されます。[E1] が表示されてから 5 分経過すると、ピーとブザーが鳴り、電源が OFF になります。5 分以内にケトルをベースにのせると、加熱・保温が再開されます。故障ではありません。
E2	■空だきになるとベースの表示部に [E2] が表示されます。(室温などお使いの条件によっては表示されないことがあります。) [E2] の表示が出ているときは温度設定、カルキ抜きを選択することはできません。ON/OFF キーを押すと電源が OFF になります。ケトルの温度が下がるまでは、再度 ON/OFF キーを押しても [E2] と表示されます。 自然に温度が下がるのを待つと、約 40 分で [E2] の表示が消えます。お急ぎのときは 5 分以上自然に冷ました後、ケトルに水を入れてからベースにのせなおしてください。ケトルの温度が下がっても [E2] が表示されるときは、お買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。
000	■電源を ON にし、モード選択をしていない状態でケトルを持ち上げると、ベースの表示部に [000] が表示されます。ケトルをベースにのせるとケトルの中の現在温度が表示されます。ケトルをベースにのせても [000] が表示されるときはお買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切後最低 6 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

仕様

型式	TK-G10
電源	100V (50Hz/60Hz)
消費電力	900W
製品寸法	幅 170 × 奥行 260 × 高さ 260 (mm)
製品質量	1.5 kg
コード長さ	1.1m
定格容量	1.0L

保証書

持込修理

製品名	電気ケトル
保証期間	本体 1年間 (消耗部品を除く)
※お客様	〒 TEL ご住所 お名前 様

型式	TK-G10
※お買い上げ日	年 月 日
※販売店	住所 店 TEL 印

本書の※印欄に記入のない場合は無効となりますので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出になるか、またはお買い上げ年月日・販売店名を証明する領収書などを添付してください。本書にご記入いただいたお客様の個人情報は商品の修理対応のために使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内（お買い上げ日から1年間）に故障した場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
- ご転居・その他などで、本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、下記の連絡先にお問い合わせください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後に落とされた場合などによる故障および損傷。
 - 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他の天災地変など外部に原因がある故障および損傷。
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用、店舗での使用、車両や船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合または本書に記入がなくお買い上げ年月日・販売店名などを証明する領収書がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

★この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくはP.14「アフターサービスについて」をご覧ください。なおご不明の場合はお買い上げの販売店、または当社（〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825 TEL 026-272-4111(代)）にお問い合わせください。

こんな症状はありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 製品にさわるとビリビリ電気をを感じる。
- その他の異常や故障がある。

こんなときは

コンセントから電源プラグを抜き、販売店に点検をご相談ください。

お客様相談窓口 この製品の使用方法、アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせは、

■エムケー精工 お客様相談窓口

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825

フリーダイヤル ☎0120-70-4040

■通常電話番号 026-272-4111 (代表)

■FAX 026-274-7089

■受付時間 9:00-12:00/13:00-17:00(土日祝日休み)
(祝日および弊社休業日を除く)

 エムケー精工株式会社

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825
TEL 026-272-4111 (代)
FAX 026-274-7089 (代)